メディカルほっと通信

せせらぎ

2026
Vol.42

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに…
患者さんに寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します



もくじ Contents

- 四万十市産業祭が開催されました …… 2 P
- 地域連携室からこんにちは …… 3 P
- 新しい内科医師の紹介です …… 4 P
  睡眠時無呼吸症候群について知っていますか …… 4 P
- 幡多地域災害医療救護訓練を実施しました …… 5 P
- はたまるパートナーズの取り組みについて …… 6 P
- 協力医療機関協定を締結しました …… 7 P
  四万十ぴよこどもクリニックについてのご案内 … 7 P
  院内フリーWi-fi、整備完了しました …… 7 P
- 発熱外来について …… 8 P
  外来診察医師担当日表 …… 8 P
  中医鍼灸院だより …… 8 P



四万十市立市民病院広報誌

四万十市産業祭が開催されました!

11月30日に開催された第４回四万十市産業祭”しまんとのチカラ”フェスタへ出展しました。

「医療体験」コーナーには、医療に興味のある子どもたちがたくさん集まり、心電図測定や血圧測定の実技体験を楽しみながら学んでいただきました。また、幡多中央消防組合の協力により、AED操作と心肺蘇生の体験を実施し、命を守る応急手当の基本を学ぶ貴重な機会となりました。

子どもたちが白衣を着用し医師や看護師になりきって、目を輝かせて実技に挑む姿が印象的でした。私たちも、医療の現場での安全と基本操作を丁寧に指導し、医療の世界の身近さを伝える機会となりました。将来、医療従事者を目指す若者が育つことを願っています。

また、「健康づくり」をテーマにした、血糖測定や血管年齢と肥満度を測定する「メタボリ先生」コーナーでは、測手の結果、年齢が実年齢より「高かった」「若かった」と一喜一憂される場面も見受けられ、自分の体の状態を知ることの大切さを学んでいただきました。

その他、市民病院の給食レシピの配付を行い、家庭でも取り入れやすいメニューの紹介や、スタンプラリー、クイズなど遊びながら学べる楽しい空間を提供できました。

たくさんのご来場ありがとうございました。









地域連携室からこんにちは！

地域連携室長の森が【在宅医療・介護連携推進研修会】に講師として登壇しました！



10月15日四万十市・黒潮町主催の研修会が医療・介護・福祉の関係者を対象にしまんとぴあで行われました。

病院と介護との連携について、市民病院での取り組みについて講演しました。その後、事例を用いたグループワークにも参加しました。

― 研修会を終えての感想や今後の病院の在り方について聞いてみました！ ―

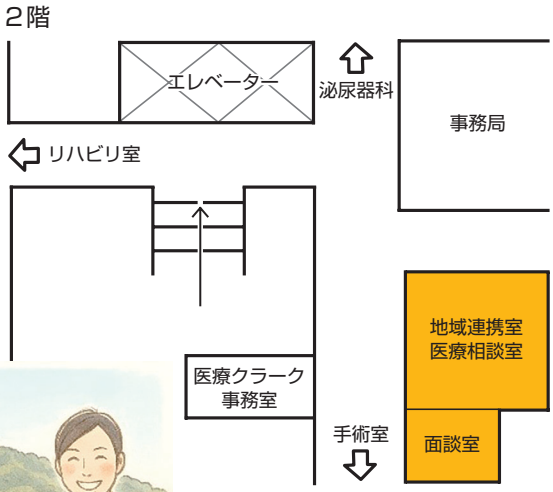
グループワークを通して様々な職種から貴重なご意見をお聞きすることができました。その中で、患者様のために同じ方向を向いてよりよい支援となるように連携をしていくことの重要性を再認識しました。また、スムーズな連携をするためにはお互いの立場を大切にして協力し合っていくことが大事だと強く感じました。

市民病院として地域の皆様から必要とされ、愛される病院であるために患者様ファーストで頑張っていきたいと思います。

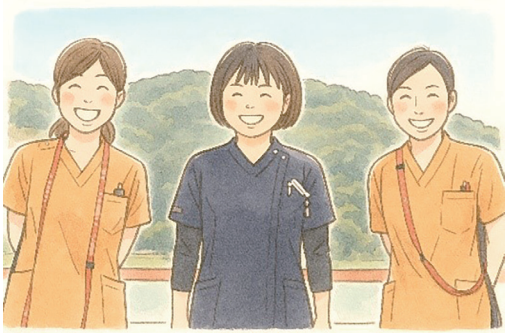


地域連携室/医療相談室は看護師（室長）１名と医療ソーシャルワーカー２名が所属しています。

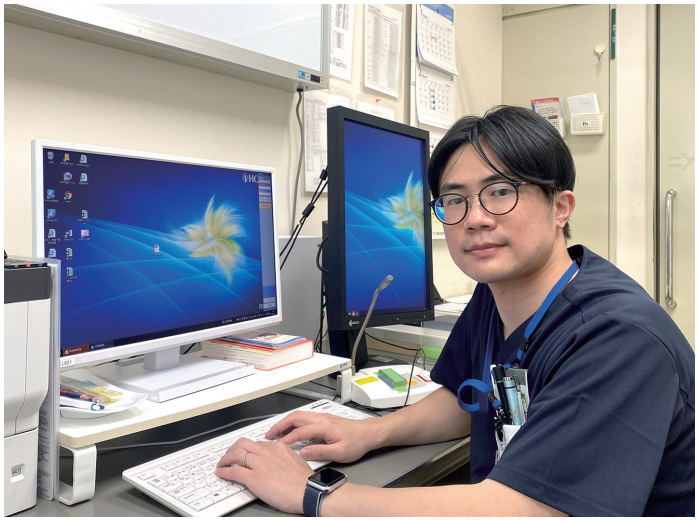
外来・入院に関わらず、患者様の不安や困りごとについて一緒に解決できるように支援を行っています。生活面や金銭面、制度に関することなどどんなことでも構いません。お気軽にご相談ください。



<相談受付時間>
平日　8:30-17:15
電話　0880-34-2126(代)
＊お電話での相談も可能です＊



新しい内科医師の紹介です



土橋　直史 医師（内科）

令和8年1月より、内科医師として赴任いたしました土橋直史と申します。昨年までは宿毛市の幡多けんみん病院にて内科医師として勤務しておりました。このたびご縁をいただき、当院で診療に携わらせていただくこととなりました。

これまで勤務してきた幡多地域で、引き続き医療に関われることを大変うれしく思っております。四万十市は海や川などの豊かな自然に恵まれ、食文化も魅力あふれる地域で、日々その良さを実感しています。

専門はリウマチをはじめとする膠原病疾患ですが、関西地域の急性期病院や幡多けんみん病院において、幅広い内科疾患の診療を経験してまいりました。内科医として、皆さまの身近な健康の相談役となれるよう心がけております。体調のことで気になることがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

“睡眠時無呼吸症候群”について知っていますか？

睡眠時無呼吸症候群は睡眠中に無呼吸や低呼吸を繰り返す疾患です。

これにより日中過度な眠気に襲われたり、様々な合併症との関連が指摘されています。健康な人であっても、人口の約2～3％の割合で発症していると言われています。

この疾患は肥満の方に多いと思われがちですが、日本人は顎が小さいと言う骨格の特徴から痩せていても罹患することが多くあります。また、狭心症などの虚血性心疾患や心不全、肺の病気などにかかっていると睡眠時無呼吸症候群を悪化させると言われています。

当院では、小さな機械をご自宅に持ち帰り一晩装着する簡易検査を、医師の判断により実施しています。





Check項目☑

● 眠っている時
- □ いびきをかく
- □ 息が止まる
- □ 呼吸が乱れる
- □ 息が苦しくて目が覚める
- □ 何度も目を覚まし、トイレに行く

● 日中起きているとき
- □ しばしば居眠りをする
- □ 記憶力や集中力が低下する
- □ 眠気を感じる
- □ 性格が変化する
- □ 体を動かすときに息切れがする

自覚症状・他覚症状があり、上記のチェック項目に該当する方は一度受診し、相談してみませんか。

問い合わせ先：内科外来



幡多地域災害医療救護訓練を実施しました!

11月15日に紀伊半島沖を震源とする南海トラフ巨大地震が発生した想定で、幡多福祉保健所、近隣市町村、幡多けんみん病院をはじめとする近隣医療機関等が参加して幡多地域災害医療救護訓練が行われました。

当院では、停電と断水が起こった中で多数の傷病者が病院に押し寄せた想定で訓練を実施しました。まず病院内に災害対策本部と診療エリアを設置し、災害対策本部では病院の被害状況を調査、集まった情報から自家発電と貯水槽の水を使うことで病院の機能が保てることを確認しました。そして、診療エリアで多数傷病者の受け入れ訓練を実施。少ないスタッフや限られた物的資源の中で、ひとりでも多くの傷病者を救うために何を最優先にすべきか考えながら取り組みました。



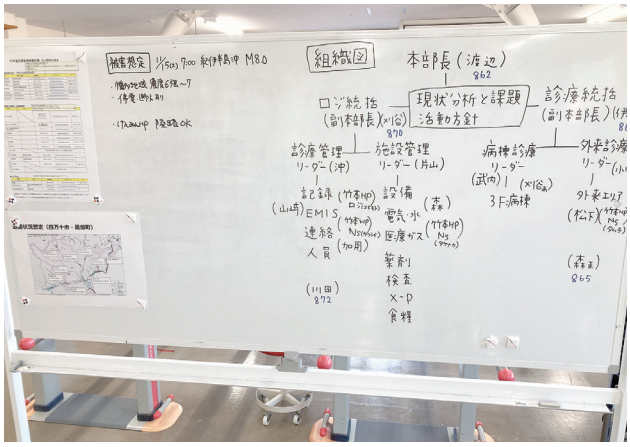


なお、今回の訓練では当院のDMAT隊員※が幡多福祉保健所、四万十市役所と黒潮町役場、黒潮町の診療所に出張して訓練がスムーズに行えるようにアドバイス等を行いました。また、黒潮町の傷病者を当院へ搬送する訓練も行いました。南海トラフ巨大地震では、四万十市だけではなく近隣市町村も大きな被害が予想されるため、幡多地域全体の災害対応能力を高める必要があります。当院のDMAT隊員は今後も積極的に訓練に参加し、幡多地域全体の災害対応能力を高めていきます。

※DMAT隊員…災害派遣医療チーム（DMAT）の資格を持つスタッフ

当院には、普段は医師や看護師、医療技術職として働き、災害時にはDMAT隊員として被災地へ派遣される職員がいます。当院では、DMAT隊員が災害研修や災害訓練を企画し、災害に関わる専門的な知識を病院全体で共有しています。





地域医療連携推進法人「はたまるパートナーズ」の取り組みについて



地域医療連携推進法人「はたまるパートナーズ」が発足されました。
四万十市立市民病院を含む６病院（幡多けんみん病院・四万十市立市民病院・大月病院・渭南病院・大井田病院・中村病院）が参画をする組織です。
永続的に地域医療を守り続けることができる適切な体制の維持により、将来にわたって医療・介護・福祉を切れ目なく安定的に提供できる体制の充実を目的としています。

今後は、医療連携推進方針に基づき、以下の取り組みを推進します。

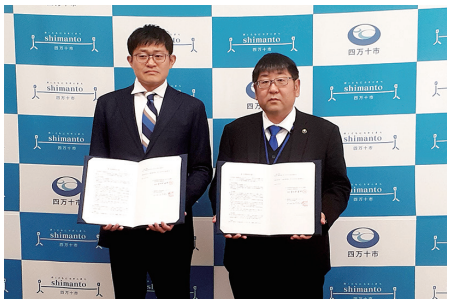
(1) 診療、病床機能分担と業務連携
(2) 参加法人間の職員派遣、共同での人材育成・共同研修
(3) 医薬品・診療材料等の共同交渉・共同購入
(4) 医療機器の共同利用
(5) 委託業務の共同交渉
(6) 暮らしを支える在宅医療と予防医療の充実
(7) 災害や感染症等緊急事態発生時における医療体制の確保
(8) そのほか、地域医療連携推進に関する事業

幡多地域では、高齢化、過疎化の進展や医療人材の不足により、地域医療の維持確保が益々厳しくなることが予想されますが、「はたまるパートナーズ」では“競争”より“協調”を大切に、民・官の垣根なく協働により、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでまいります。



設立記念式典の様子（R7.7.12）

協力医療機関協定を締結しました



12月５日、社会福祉法人南海福祉会（四万十の郷）と四万十市立市民病院において、協力医療機関協定を締結しました。

この協定は、介護保険制度における高齢者施設等と医療機関の連携強化を推進する見直しが行われたことに伴い、介護老人福祉施設である「四万十の郷」と在宅医療を支援する地域の医療機関である「四万十市立市民病院」が実効性のある連携体制を構築することを目的に協定を締結しました。

この協定締結を契機として、より一層、医療と介護の連携の強化や充実を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むことで、「住み慣れた地域で、誰もが安心して住み続けられる。」「高齢者の方々が可能な限り、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる。」まちづくりに貢献していきたいと考えています。

市民病院の空きスペースを活用して民間小児科が開院

市民病院の西棟１階空きスペースの貸出をすることで、民間の小児科「四万十ぴよこどもクリニック」が12月３日に開院しました。この公立病院施設内での民間クリニックの開院は、全国でも非常に稀な取り組みです。

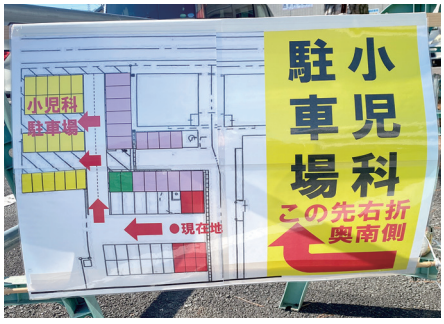
今後は、「四万十ぴよこどもクリニック」の診療・診察において、市民病院は検査やレントゲン撮影などで協力・連携してまいります。

なお四万十ぴよこどもクリニックのご予約、HPはこちらからご覧ください。⇒

【注意点】

・四万十ぴよこどもクリニックと四万十市立市民病院とは、問い合わせ先が異なります。連絡の際にはお間違えのないようご注意ください。
・四万十ぴよこどもクリニック専用の駐車場を設けています。下の写真のヒヨコマークが目印です。案内掲示もございますので、ご確認のうえ駐車をお願いいたします。
・発熱外来用の駐車場が近くにあります。間違えて駐車をしないようご注意ください。
・こどもの患者様が増えますので、駐車場内は『徐行』をお願いいたします。





院内フリー Wi-fi、整備完了しました！

患者様よりご意見箱等でご要望いただいておりました、院内フリー Wi-fi の整備が完了いたしました！各階でご利用いただけます。

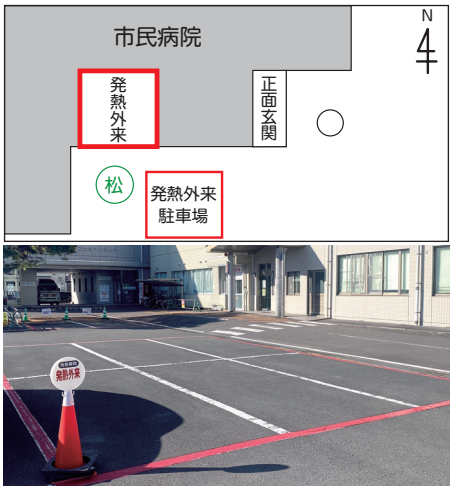
「shiminbyouin-free」

※他の患者様の迷惑にならないよう、ご利用の際には、音量等にご配慮をお願いします。
※院内全体でご使用いただけますが、場所によって接続状況が悪い場合がございます。ご了承ください。

FREE

発熱外来について

○ 診察時間：月～金曜日（祝日は除く）
午前9時～午後5時
※予約時間内であっても予約状況や診療体制により受付を終了する場合があります。
○ 予約受付時間：午前8時30分～11時（平日のみ）
○ 受診方法：必ず電話での事前予約が必要となります。
【電話番号：0880-34-2126】
○ 場所：病院西側の健康管理センター内



外来診察医師担当日表

令和８年１月１日より

		月		火		水		木		金	
内　科	午前	初診 予約外	※安田 早耶香	初診 予約外	土橋 直史	初診 予約外	土橋 直史	初診 予約外	鈴木 光哉	初診 予約外	西尾 美紀
		予約	鈴木 光哉	予約	鈴木 光哉	予約	鈴木 光哉	予約	土橋 直史	予約	※高知大附属病院 （注１） （第1～第4）
		予約	西尾 美紀	予約	濱川 公祐 （第2･4）	予約	西尾 美紀	予約	西尾 美紀 （第1･2･3･5）	予約	濱川 公祐
	午後	予約	※安田 早耶香	予約	濱川 公祐	予約	濱川 公祐	予約	濱川 公祐	予約	※高知大附属病院 （注１） （第1～第4）
		予約	※佐田 憲映 （不定期）	予約	樋口 佑次 （第3･4･5）	予約	樋口 佑次	予約	樋口 佑次	予約	樋口 佑次
		予約	鈴木 光哉	予約	西尾 美紀	予約	鈴木 光哉	予約	※竹田 修司 （第3週）	予約	土橋 直史
脳神経外科	午前	田村 康晃		田村 康晃		休　診 （急患のみ対応）		田村 康晃		休　診	
外　科	午前	宇都宮 俊介		（検査）		宇都宮 俊介		（検査）		宇都宮 俊介	
整形外科	午前	河内　通		坪屋 英志 （注２）		河内　通		坪屋 英志 （注２）		河内　通	
泌尿器科	午前 午後	休　診		※山下 永理加 （午前９時～）		※香西 哲夫 （午前９時～）		休　診		休　診	

※ 印のある医師は非常勤医師です。
（注1）高知大学附属病院医師が交替で診療します。
第1金曜日：山﨑直仁、第2金曜日：高村洸輝、第3金曜日：濵田幸汰、第4金曜日：竹内雅音、第5金曜日：なし
診察時間　第1金曜日～第3金曜日：9時～17時、第4金曜日：11時～17時
（注2）整形外科　火・木に限り初診・予約外の方の診察は14時以降になります。
●受付開始時間　午前8時30分　●初診・予約外の方の受付時間　午前8時30分～11時まで
※受付時間を過ぎて受診される場合は、必ずお電話でのお問い合わせをお願いします。
●診療時間　午前8時30分～午後5時15分（急患の場合はこの限りではありませんので、まずはお電話ください）
●休診日　土曜日・日曜日・祝日及び年末年始

中医鍼灸院だより

診療日　午前9時～午後５時まで　※水曜日・日曜日は休診日です。

	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	―	○	○	○	―
午　後	○	○	―	○	○	○	―

TEL 0880-34-4798　※予約制



ホームページもぜひご覧ください！
四万十市立市民病院　検索

発行元
四万十市立市民病院広報委員会
〒787-0023
四万十市中村東町１丁目１番27号
TEL(0880)34-2126・FAX(0880)34-1861
令和８年１月発行